

平成31年度(2019年度) 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	保健体育	科目(単位数)	保健(1)	学年	1	類型	全クラス
学習目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。						
期間	単元(学習内容)	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	○健康の考え方 ・国民の健康水準と疾病構造の変化 ・健康の考え方と成り立ち	○健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきている。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	○健康の考え方 ・健康に関する意志決定や行動選択 ・健康に関する環境づくり	○健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきている。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	○健康の保持増進と疾病の予防 ・生活習慣病と日常の生活行動 ・喫煙・飲酒と健康	○健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事・睡眠・休養の調和のとれた生活を実践する必要があること。喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になることを理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	○健康の保持増進と疾病の予防 ・薬物乱用と健康 ・感染症とその予防	○薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならず、対策には、個人・社会環境への対策が必要である。感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがあり、予防には、個人的及び社会的な対策を行う必要があることを理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 3学期 学年末考査	○精神の健康 ・欲求と適応機制 ・心身の相関 ・ストレスへの対処・自己実現	○欲求と適応機制には、様々な種類があり、精神と身体には密接な関連があること。精神の健康を保持増進するには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であることを理解する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
3学期 学年末考査～ 年度末	○交通安全 ・交通事故の現状・交通社会で必要な資質と責任・安全な社会づくり ○応急手当	○交通事故の防止は、車両特性の理解、安全運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備等が関わることを理解する。 ○応急手当は、傷病等の悪化を軽減できることを理解し、心肺蘇生法の実習ができるようになる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「現代高等保健体育改訂版」(大修館書店) 副教材：「現代高等保健体育ノート改訂版」(大修館書店)						
学習方法	講義・グループワーク及び実技(心肺蘇生法)						
評価方法	①定期考査(期末考査及び学年末考査を実施) ②提出物 ③授業に臨む態度						